

「親の学習」プログラム

4-3

育ちあい、話して深める親子関係

親と子を結ぶものはいろいろ考えられます。親子のコミュニケーションは、食事が体をつくるのと同じくらい、子どもの心をつくっていきます。日ごろのあなたの言葉かけは、子どもの心育ちにどんな栄養を提供していますか。ここでは、あなたが投げかける言葉かけについて考え、会話力を点検してみましょう。



ワーク1 あなたのお子さんが学校から帰ってきました。

「テストを返されたよ。」と言って、うつむきながらあなたに算数のテストを2枚渡しました。2枚ともあなたが期待していた点数よりも低い点数でした。

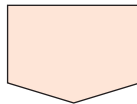
以前から点数のことが気になっていたあなたは、お子さんにどんな言葉をかけますか。

次のポイントを参考にしながら、グループで話し合ってみましょう。

ポイント1 子どもはどんな言葉を期待しているのでしょうか。

ポイント2 学習意欲を高めるためには、どんな言葉かけがふさわしいのでしょうか。

ポイント3 子どもが学び方を身につけるためには、どんなアドバイスが考えられるでしょうか。



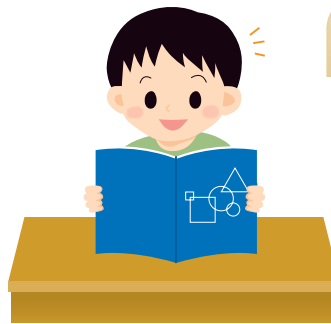
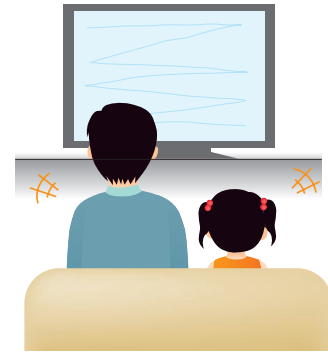
グループで推薦する言葉かけを選びましょう。

その言葉は、子どもをどんな気持ちにさせますか。

ワーク
2

親子の会話では、子どもの気持ちをつかみながら、話し方を変える必要があります。次のような時、どんなことに気をつけて話しかけますか。グループごとに話し合ってみましょう。

ゲームをしたりテレビを見たりすることが多く、本を読むことや学習することにも目を向けて欲しい。



①あなたの考えた言葉かけは何ですか？

②グループの中で発表し合い、よかった言葉かけを選びましょう。また、選んだ理由についても話し合ってみましょう。

③よかった言葉かけをグループごとに発表しましょう。

ふりかえり

あなたの会話力について、まとめてみましょう。

①あなたは子どもへの言葉かけで、自分の会話力をどう感じていますか。

よいと思う () まあまあよいと思う ()
ふつう () もう少し伸ばしたい ()

②子どもへの言葉かけとして、自分のこんな言い方をこう変えていきたいと思うところがありますか。

資料

上手にほめる

- 本気でほめる
- ほめるときは、具体的にほめる

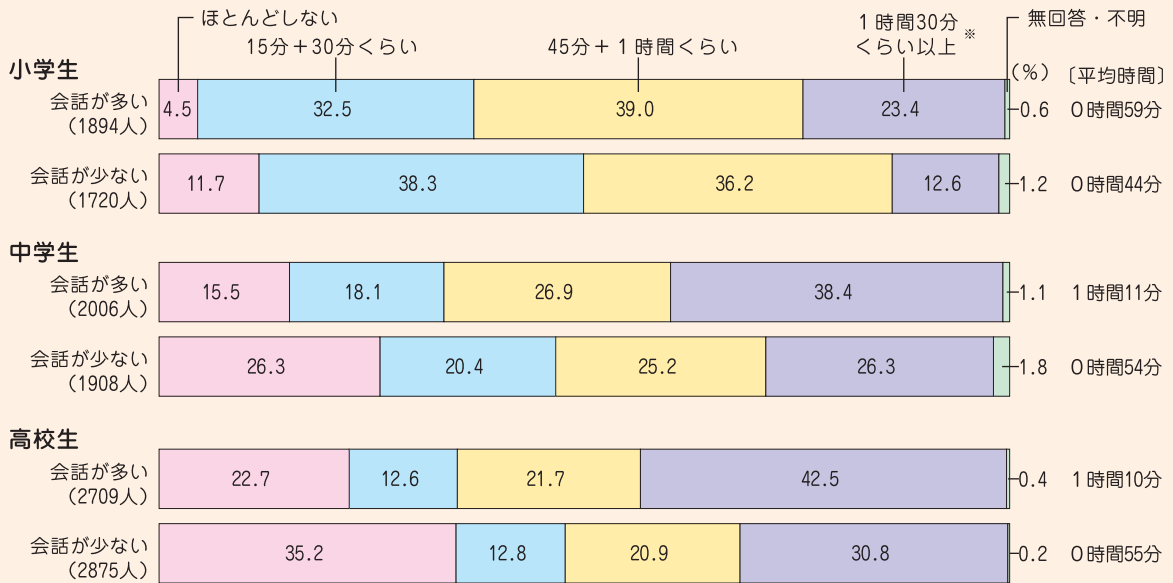
上手にしかる

- どうまずいのか具体的に叱ってあげる
- なぜ叱られているのかわかるように叱る

埼玉県家庭教育振興協議会『～子ども励まし十か条～やる気にさせる親の知恵』（平成14年）

言葉は、言語的な意味と感情をとまいません。子どもは、「きちんと、かたづけてね!」と言われた時、言葉の意味とその奥の心の在り方を即座に読み取ります。怒っているのか、片づけるという習慣をつけさせようとしているのかなど、親の心の在り方をどう伝えるかにも気を配る必要があります。

平日の家での学習時間（学校段階別、親との会話量別）



注1)親との会話量：父親、母親それぞれとの会話量に関する合計10項目の回答の合計点により、「会話が多い」群と「会話が少ない」群を設定した

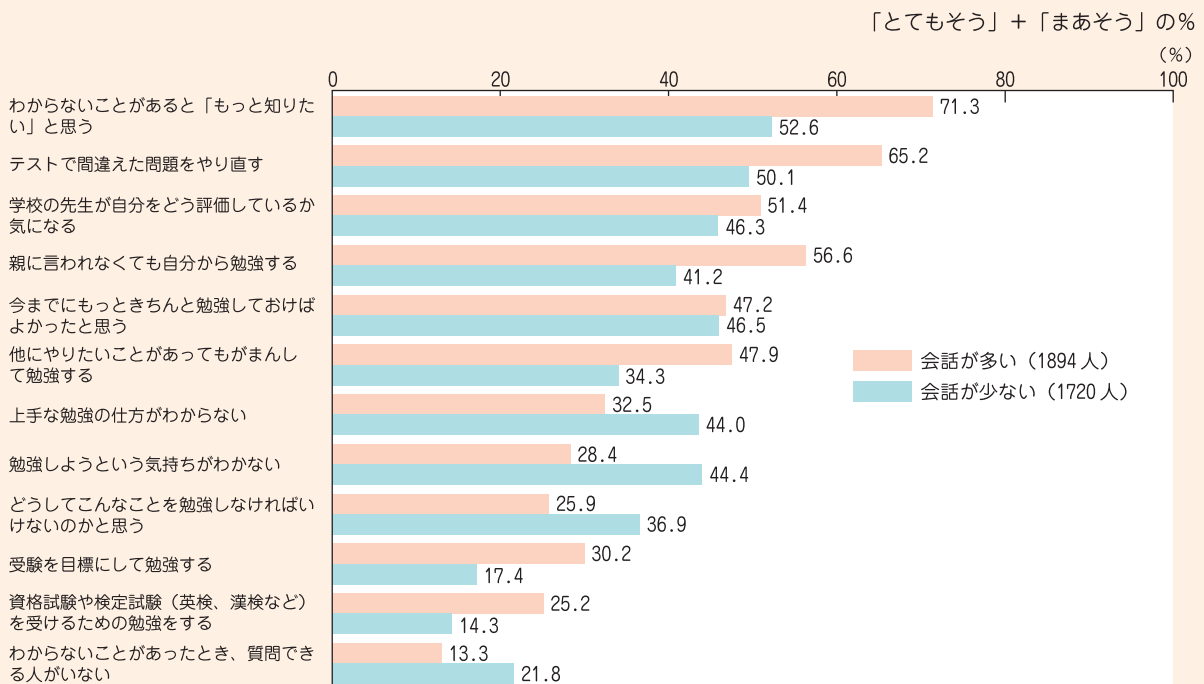
注2)※「1時間30分くらい以上」＝「1時間30分くらい」＋「2時間くらい」＋「2時間30分くらい」＋「3時間くらい」＋「3時間以上」

注3)平均時間は「無回答・不明」を除いて算出

※「○+□くらい」は、「○～□くらい」と読み替える。

ベネッセ教育研究開発センター「子ども生活実態基本調査」(平成16年)

学習の取り組み方（小学生、親との会話量別）



注)親との会話量：父親、母親それぞれとの会話量に関する合計10項目の回答の合計点により、「会話が多い」群と「会話が少ない」群を設定した

ベネッセ教育研究開発センター「子ども生活実態基本調査」(平成16年)